



宮城県気仙沼市 & 早稲田大学 地域連携スタディツアー2025

地域連携スタディツアーとは

参加学生が地域の文化、産業、自然環境などを直接体験し、地域の課題や魅力を深く理解することを目的とした、早稲田大学と地方自治体が共同で企画する実践的な学びのプログラムです。

プログラムのなかで、自治体や地域住民、企業等との交流を通じて、設定されたテーマについて考察します。地域社会の現実的な課題に直面し、解決策を模索する経験を積むことで、今後の地域連携や地域貢献活動に役立つ「学び方を学ぶ」ことができます。このプログラムを通じて、自らの経験値を上げ、地域を見る目、地域の課題解決に対応する力をぜひ養ってください。

おススメのポイント！

- 地方都市に興味のある学生におすすめ。
- 地域課題の解決や地域資源を活かしたビジネスプランを考える視点から地域を実態的に学びます。
- 地方都市の企業や団体などを訪問して、ヒアリングを行い、現場の生の声に触れることができます。
- 社会課題や地域資源等を捉え、地域課題の解決に向けた手法について、プレゼンテーションします。
- 副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域の対象プログラムです。

テーマ

地域課題の解決や地域資源を活かしたビジネスプランを考える

宮城県気仙沼市では、少子高齢化が進行しており、人口減少が地域経済の縮小を招き、その縮小がさらに人口減少を加速させるという悪循環が懸念されています。また、基幹産業である水産業は海洋環境の変化や消費者の魚食離れ、加工現場での人手不足等により生産力が低下するなど、様々な課題に直面しています。このため、輸出や企業誘致などによる域外からの資金獲得や、域内で資金を循環させる「地域経済循環」の仕組みづくりが求められています。

こうした状況に対し、市は持続可能な社会の実現に向けた「気仙沼サステナブルシティ推進プラン」や市民の暮らしやすさ（Well-being）の実現に向けた「～こどもと女性の瞳がやく～けせんぬま Well-being プラン」、「産業立市」の理念のもと、自力で「稼ぐ力」を強化する「産業パッケージ」、人口減少下でも豊かな未来を担う人材育成を目的とした「教育パッケージ」等あらゆる分野において施策を展開しており、今後、アクティブシニアが溢れるまちを目指すため高齢者向け政策パッケージの創設も予定しております。

そこで今回、皆さんには、持続可能な地域づくりに向けて、本市が抱える地域課題の解決や地域資源等を活かしたビジネスプランを提案していただきます。

気仙沼市の魅力

豊かな海と山に抱かれた気仙沼市。このまちには、先人たちから受け継がれたスピリットがあります。リアスの海と緑豊かな山や川の恵みを楽しんでいること。命の源である自然を大切に守ること。地域ならではの食文化と生活を育むこと。新しいものを受け入れ、多様性を尊重すること。自然を敬い、ともに生きること。これらのスピリットをまちの「誇り」として次代に伝え、ひとりひとりが心豊かに、自然と共生する。そんなまちの姿にふれ、気仙沼が見つめる未来を感じてみませんか。



募集概要

実施期間	2026年3月4日（水）～3月7日（土）
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生（修士課程）（学部、専攻、学年問わず） （留学生の場合は、日本語でのヒアリング、グループワーク、プレゼンテーションに対応できることを条件とする）
募集期間	2025年10月21日（火）～11月3日（月）23：59 [厳守]
応募条件	①2回のオンデマンド授業を視聴し、それぞれ課題を提出、②現地3泊4日の全日程に参加、③終了後に期限内にレポート提出、 以上、3点を確約できる者。
募集人数	8名 ※応募者多数の場合は、志望理由で選考します。
実施の流れ	① 12月と1月に各1回のオンデマンド授業を受講し、それぞれ課題を提出 ② 現地実習参加（最終日の成果報告会でチームによるプレゼンテーション） ③ 終了後に、1週間以内にレポート提出
応募方法	① MyWASEDAの「お知らせ一覧」から「地域連携スタディツアー2025春編」を検索 ② 「地域連携スタディツアー2025春編応募フォーム」から「申請」をクリック 必要事項（志望理由など）を入力して申請 ※申請完了を確認してください
選考方法	書類選考：結果通知は 2025年11月21日（金）までに申請時に記入したメール宛に 通知します。 ※当選者には、メールにて参加の意思確認をするので、日常的にメールを確認するようにしてください
説明事項	① 本スタディツアーは課外活動なので、卒業単位の対象ではありませんが、副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域に「1単位相当」として認定されます。 ② 2026年3月4日から7日の現地実習は、現地集合・現地解散で、 往復交通費は自己負担 です。 ＜交通費目安＞東京駅～気仙沼駅 片道 14,360円（東北新幹線＋大船渡線） ③ 参加者が現地で負担する費用は、 宿泊費（3泊朝食付）で計24,000円のほか、昼・夕食費実費等です。 ＜宿泊場所＞気仙沼プラザホテル 〒988-0014 宮城県気仙沼市柏崎1番地1 ④ 現地での移動は、気仙沼市からご支援をいただきます。 ⑤ 現地では、本学教員と気仙沼市職員が引率します。 ⑥ 早稲田大学の学生補償制度（損害補償・賠償責任補償）に加入いただきます。費用は大学が負担します。 ⑦ 現地実習の途中からの参加や早退は認められません。 ⑧ 現地実習実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、公欠扱いになりません。 ⑨ 参加確定後に、正当な理由なく参加を取りやめた場合、以後の地域連携スタディツアー、地域連携ワークショップ等に応募できないことがあります。 ⑩ 【重要】本スタディツアーに参加が決定した場合、11月末～12月上旬に募集予定の地域連携ワークショップおよび企業連携ワークショップへの応募はできません。事前に各プログラムの特色などをご確認の上、応募してください。 ⑪ 本スタディツアーでは連携先、大学がInstagram等公式SNSを含む広報活動の目的で写真・映像を撮影します。掲載の際には個人特定されないよう十分注意いたしますが、あらかじめご了承ください。 ⑫ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。
問合せ先	グローバルエデュケーションセンター 准教授 加藤基樹（motokato@waseda.jp） ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部／研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。

現地実習のスケジュール（予定）

3月4日 (水)	11:44	気仙沼駅集合(参考:大船渡線 11時44分着)
	12:00-13:00	気仙沼市役所にてオリエンテーション
	13:00-17:00	地方の現状を知る(気仙沼市の現状, 市内企業・団体から説明等), 気仙沼市からヒアリング
3月5日 (木)	9:00-17:00	地方の現状を知る(気仙沼市の現状, 市内企業・団体から説明等)
3月6日 (金)	終日	プレゼンテーション作成(時間があれば, チームでまちあるき可)
3月7日 (土)	9:00-10:45	成果報告会(プレゼンテーションと講評)
	11:00	気仙沼「海の市」訪問(土産購入可)
	12:15	気仙沼駅解散(参考:大船渡線12時15分発)

※天候や先方のご都合によって、変更が生じる場合があります

※プレゼンテーションは、気仙沼市の現状や取組などを踏まえて、大学、大学生、市、市民が協働してどのようなことができるのか、またすべきなのか、ビジネス手法による課題解決のアイデアを発表していただきます。

その他

副専攻「地域連携・地域貢献」の実践領域では、2単位相当を要件としています。

本スタディツアーは1単位相当なので、これだけでは不足しますが、地域連携スタディツアーは、夏休みと春休みに、それぞれ数カ所で開催しています。今後、複数のスタディツアーに参加して、それぞれの違いを感じながら、実践的に学んでいくことをおすすめします。